

泊地域 拠点整備 基本計画 (概要版)

平成31年3月

現況

人口

泊村(合併前) H12,10

■世帯数 : 885戸
■人口 : 3,056人
高齢者65歳以上 : 814人 14歳以下478人
(高齢化率 28.6% 14歳以下比率15.6%)

泊地域(合併10年)H27.10国勢調査

■世帯数 : 833戸
■人口 : 2,518人
高齢者65歳以上 : 854人 14歳以下303人
(高齢化率33.9% 14歳以下比率12.0%)

10年

事業所

	H8	H13	H16	H21	H24	
事業所数		138	127	95	93	74
従業員数		768	730	416	555	422

(出典：事業所・企業統計調査、経済センサス)

危機感



このままでは、少子高齢化が進み集落機能の維持ができない

なんとかしなければ！ 泊が消滅する！！

未来

泊地域小さな拠点施設イメージ

泊地域小さな拠点検討協議会による検討・計画策定

※提案であり、確定したものではありません。

<協議会からの提案>

■拠点の機能

- ・役場機能（行政サービス機能）
- ・コミュニティ機能
- ・店舗（買い物機能）

■拠点の設置場所

泊漁港内～泊支所周辺

■その他

人口減少を食い止めるため、宅地造成や町営住宅建設を要望

小さな拠点のイメージ図



活性化への取り組み

泊の強み弱み等の抽出(SWOT分析)を住民がする

強み (S)

- ・美しい海と漁港(養殖ヒラメ・定置網、サーフィンができる)
- ・グラウンド・ゴルフ
- ・泊美人、泊り漬
- ・海産物、農産物
- ・集落ごとの個性、団結力!

弱み (W)

- ・お店がない、買物が不便
- ・人が集まる場所がない
 - ・土地が狭い
 - ・認知度が低い

チャンス (O)

- ・移住者がいる
- ・JRの駅がある
- ・潮風の丘とまり
- ・定置網、火曜の朝市
- ・風光明媚なウォーキングコース
- ・高速道路のインターチェンジ

ピンチ (T)

- ・少子高齢化
- ・後継者がいない
- ・漁師の減少、漁業、農業の衰退
- ・銀行の撤退
- ・商店の閉店

拠点整備の基本設計

治地域拠点整備位置案

治地域小さな拠点検討協議会からの提案書(既存公共施設の方向性)

施設名	方向性
役場泊支所	機能を継続。建物は改修。
中央公民館泊分館	機能を新拠点へ移行せず、継続する。建物は将来解体し、新築する。
漁村センター	機能を新拠点へ移行。建物は将来解体。
青少年の家	機能を新拠点へ移行せず、建物は将来解体。

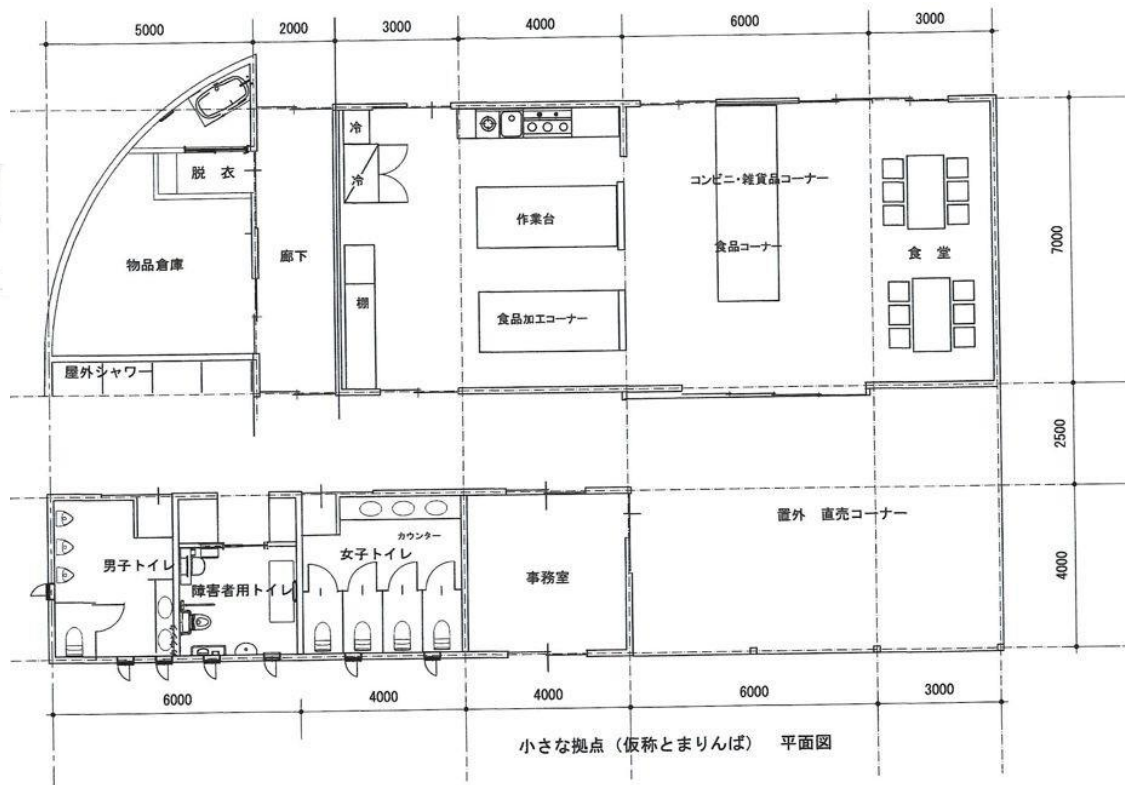
スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
買物拠点	基本設計	実施設計・建築工事	竣工	
公民館改築	基本設計・実施設計	→ 解体・建築工事	竣工	
青少年の家		公民館代替	解体	
役場泊支所		耐震・改修設計	改修工事	竣工
漁村センター			支所代替	解体検討

公民館機能
(中央公民館泊分館解体、新築)



買物機能 とまりん場(仮称)



運営組織

「泊地域小さな拠点検討協議会」が母体となり地域住民を中心とした運営組織を設立する。

運営組織の提案

- ・地域住民有志を中心とした拠点運営団体を設立し、とまりん場(仮称)の管理、ゲストハウスの運営等を行い、自立した運営を行う。
- ・運営団体は、小さな拠点検討協議会や海の駅とまり協議会に参画し、気運向上を図る。
- ・地域内にある各団体と連携をして、地域活性化を図る。
- ・地域住民による利用を促し、地域外からの交流・関係人口を促進する仕組みを検討する。

